

「令和4年度 国際会議参加者向けサステナビリティメニュー開発業務」
公募型プロポーザル 特定結果

令和4年度国際会議参加者向けサステナビリティメニュー開発業務について、公募型プロポーザル方式で、受託候補者を特定しました。

1 件名

令和4年度 国際会議参加者向けサステナビリティメニュー開発業務

2 主な委託内容

サステナビリティメニューの企画開発、モニターツアー実施、セールスシート作成等

3 受託候補者

株式会社 JTB 横浜支店

〒221-0835 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町 3-29-1 第 6 安田ビル 6 階

4 評価結果

事業者名	総合点	順位
株式会社 J T B 横浜支店	340	1
株式会社 D M C G r e a t e r Y o k o h a m a	303	2
近畿日本ツーリスト株式会社 横浜支店	295	3

5 評価基準・評価委員会開催概要

○評価基準

別紙参照

○委員会開催日時及び開催場所

令和4年6月28日(火) 13時30分から15時30分

産業貿易センター 302会議室

**令和4年度 国際会議参加者向けサステナビリティメニュー開発業務委託
委託業者選定に係わる提案書評価基準及び配点**

評価項目	評価の視点	配点
1 実施方針		
①MICE都市・横浜への理解及び実施方針	横浜は国際会議を誘致している「MICE都市」であり、横浜がもつ港町のリラックスした雰囲気、開港からの歴史と企業やR&D施設の集積地となる先進的な面を同時にもつ「横浜らしさ」を理解しているか。またそれに基づいた実施方針は本事業の目標達成が期待できるか。	10
2 メニュー企画開発		10
①欧米におけるサステナビリティのトレンド把握	(F)国際会議主催者・参加者のサステナビリティに係わるニーズ（特に欧米）を把握しているか。 (f)国内外他都市が提供する同種のサステナビリティに関する体験型コンテンツを踏まえて先進事例やトレンドを把握しているか。	15
②メニュー内容	メニュー開発について、以下の要件を満たし、4件以上のメニュー案及びその所要時間がされているか。 (F)トレンドを踏まえ横浜らしさを意識した内容となっているか。 (f)Blue, Green and much more in betweenのキャッチコピーを意識した内容が1件以上含まれているか。	25
(2)メニューのモニター実施について		40
ACD2022の実現性	モニターについて以下の要件を意識した内容となっているか。 (F)実施概要は指定した内容に沿っているか。 (f)適切な講師が手配できているか。 (f)適切な参加者管理の手段は適切か。 (I)実現可能な運営体制及び感染症対策が講じられているか。 (I)アンケートの取得方法は適切か。	10
MICE SHOWCASE 2023の実現性	モニターについて、提案されたメニューの中から1つ選び（ACD2022で実施した内容をのぞく）、実現が見込まれる実施概要及び感染症対策を含めた運営体制になっているか。	10
3 運営体制		20
事業全体の運営体制	全体の提案内容に具体性があり、確実に実施するための必要かつ十分な人員体制を構築しているか。	10
事業全体のスケジュール	全体の事業スケジュールは適切に設定されているか。	10
4 類似実績		20
類似実績	過去3か年以内（2019年～2021年）に、本事業趣旨と類似したメニュー開発業務及び、サステナビリティへの知見があるか。	10
		10
		100